

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	集中治療室常駐薬剤師による薬学的管理が薬物有害事象発生率に及ぼす影響		
2. 対象患者	2017/1/1～2018/7/31に弘前大学医学部附属病院、集中治療室へ入室した全患者さん		
3. 対象となる期間	2017年 1月 1日 ～ 2018年 7月 31日		
4. 実施診療科等	薬剤部、集中治療部		
5. 研究責任者	氏名	津山博匡	所属 薬剤部
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	本研究の共同研究機関はありません。		
7. 研究の意義	集中治療室に入室する患者さんには、様々な薬物が使用されます。現在、当院の集中治療室では、常駐薬剤師による薬学的管理を推進しています。本研究では、薬剤師による薬物療法支援が、集中治療室における患者さんの薬物療法適正化にどの程度貢献しているか検証します。集中治療室における薬剤師の活動を客観的に評価することで、より安全な薬物療法の提供に繋がると考えられます。		
8. 研究の目的	集中治療室常駐薬剤師が行う薬学的管理が、入室患者さんの薬物療法における有害事象発生率に及ぼす抑制効果を明らかにします。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	集中治療室に保存されている患者さんの経過記録(紙媒体)および電子カルテ記録情報に基づき、薬学的介入による有害事象の発見率・防止率について統計学的に解析します。新たな採血などは実施いたしません。使用する情報は、基礎疾患、重症度、手術歴、処方歴などです。		
10. 個人情報の保護	データを収集する際、患者さんのお名前など個人の特定に至る情報については全て削除します。収集したデータは薬剤部で厳重に保管します。また、解析したデータを学会や論文などに発表する場合においても個人情報は一切含まれません。したがって、個人のプライバシーは十分に擁護されます。本研究への情報利用を拒否された場合、データは削除致します。ただし、学会や論文で研究結果発表後は発表済みのデータの修正は出来ませんのでご了承ください。		
11. 利益相反に関する状況	本研究に対する利益相反はありません。		
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 薬剤部 津山 博匡		
	電話	0172-33-5111	FAX 0172 - 39- 5302